

企画・制作 東京新聞広告局

映画『日本のいちばん長い日』公開記念特別インタビュー



はやしや きくお 落語家。1937年東京・日本橋生まれ。食品会社勤務、漫画家・清水里氏の門下を経て55年三代目桂三木助門下へ入門。56年林家正蔵門下へ移り林家木久扇を名乗る。65年二つ目昇進。69年日本テレビ『笑点』レギュラーメンバーに。72年長打昇進。2007年林家木久扇襲名。画家、俳人、声優など多方面で才能を発揮。(社)落語協会相談役、(社)俳人協会会員、(社)日本漫画家協会参加などを兼任する。

落語家 林家木久扇さん

『一国民としてあの日は歴史のくぎりを感じました。戦争はしちゃあいけないんだよね。』

国民学校で聞いた 玉音放送の衝撃 僕の生まれは日本橋の雑貨問屋。でも東京大空襲で焼け出され、長男の僕はあちやんと2人で青森県の八戸に縁故疎開、両親と妹たちは狭路へ移り住み込まれた。終戦直前になって、もう日本が駄目だから最後は家族一緒に居ようかと両親の元へ呼び戻されましてね。映画の中にもございまして、その頃はよく『日本は負けない』『戦う、頑張る』などと書かれたビラが飛行機から撒かれたもので、それから間もなく8月15日を迎えました。



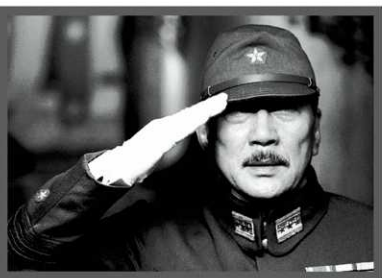
戦後70年の節目となる今年、戦争を終わらせるために闘った人々を描いた映画『日本のいちばん長い日』が間もなく公開されます。幾度となく空襲に見舞われ、数多くの人が犠牲になった東京ですが、残念ながら当時の記憶は薄れつつあります。映画では、徹底抗戦を主張する軍部の声を中心としめるなか、指導者たちがたどった終戦への道のりを丹念に描いています。

僕はとにかくお金を稼ぎました。学校の行き帰りに磁石で鉄を集めて売ったり、食堂を営んだ叔母からアイスクリームを仕入れて映画館で売りをしたり。小4からは、野犬の群れにおびえながら新聞配達を続けまし



暑い日でした。太陽がゆっくり回転していく中で、子ども心に何か空気がものすごく変わったことを感じました。『二度と味わいたくない』 戦争中、まだ青森に疎開する前に空襲が激しくなってきた頃の。怒り、爆弾で火災が広がって窓がパツと明るくなる。うちの真ん前にあった消防署の望楼からウーッとサイレンが鳴る。わあまた空襲だ、恐怖で口の中が酸っぱくなりました。幼いながらも常に『明日死ぬかもしれない』という思いを心の隅に抱え、異常な日常を過ごしていました。

『二度と味わいたくない』 戦争中、まだ青森に疎開する前に空襲が激しくなってきた頃の。怒り、爆弾で火災が広がって窓がパツと明るくなる。うちの真ん前にあった消防署の望楼からウーッとサイレンが鳴る。わあまた空襲だ、恐怖で口の中が酸っぱくなりました。幼いながらも常に『明日死ぬかもしれない』という思いを心の隅に抱え、異常な日常を過ごしていました。



8月15日のあの日は、僕は小さくて終戦の実感はなかったけれど、今頃になって自分が『歴史の区切り』にいたことに涙をあらためて感じることがあります。そして今、このタイミングでこの映画、すくなくタイムリーです。『日本人にとって8月15日って何だろう』『何があったんだろう』とあらためて考えさせられます。僕は、玉音放送は生だと思っていましたから、前日に録音された映画で知ってびっくりしました。録音盤を巡って、日本全土が灰になっていたかもしれない24時間のサスペンスドラマが生まれたわけですね。映画というより、長いドキュメンタリー番組を見ているようでした。最初はお茶とお煎餅を用意して軽い気持ちで見始めたのに、途中から正座してかじこめた(笑)。それくらい真に迫った映画です。ぜひみなさんに、とくに若い人に観てもらいたいですね。そして8月15日について考えて欲しいなあと思います。

【ストーリー】 太平洋戦争末期、戦況が困難を極める1945年7月。連合国は日本にポツダム宣言受諾を要求。降伏か、本土決戦か――。連日連夜、閣議が開かれるが議論は紛糾、結論は出ない。そうするうちに広島、長崎には原爆が投下され、事態はますます悪化する。『一億玉砕論』が渦巻く中、決断に苦悩する阿南惟幾(あなみ これちか)陸軍大臣(役所広司)、国民を案する天皇陛下(本木雅弘)、聖断を押し閣議を動かしてゆく鈴木貫太郎首相(山崎努)、献身的に首相を支える迫水久常書記官(堤真一)。一方、終戦に反対する畑中健二少佐(松坂桃李)が青年将校たちはクーデターを計画する。日本が破滅へと向かう中、平和への礎を築くために苦悩し、身を挺した人々の壮絶なドラマ。

Table with 7 columns: Date (4月7日 to 8月14日), Event (e.g., 鈴木貫太郎が首相に任命される, 原爆投下, 玉音放送).

終戦70年を迎える今、私はこう見る 1945年8月15日

Movie poster for 'The Longest Day in Japan' with cast list and promotional text.



日本の未来を信じ、戦争終結のために命をかけた 男たちの感動の物語。 降伏か、決戦か――。その決断に、すべての希望は託された。

Movie poster for 'The Longest Day in Japan' featuring portraits of the main cast members and their roles.

Advertisement for the movie's nationwide release on August 8th, including a list of participating theaters and showtimes.